

問合せ●両神ふるさと総合会館・学校教育課  
☎79-1201

## 小学生が英語劇にチャレンジ!

8月24日に小学生英語体験講座として『こども英語劇』の発表会を行いました。ALTの音声を聞くことで全ての台詞を英語で覚えた子どもたちは、互いに助け合い、短期間で大きく成長しました。異学年の交流や町内の学校間交流ができたことも、子どもたちの財産になりました。当日は、会場に駆けつけてくださった約170人の観客の皆さんから盛大な拍手をいただき、子どもたち一人ひとりからは、舞台を演じきった満足感が表情にあふれ出ていました。終演後には、励ましと心温まる感想を大勢の皆さんからいただきました。応援して下さった地域の皆さん、保護者の皆さんに心より感謝申し上げます。



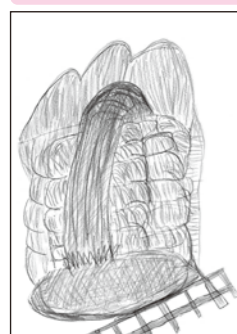
《あらすじ》本が大好きな小学生が、ゲーム好きで読書を嫌う友だちに本の楽しさを知ってもらおうと本の中に入り込みます。本の中で『浦島太郎』『白雪姫』『大きなかぶ』の楽しい話を目の当たりにした小学生は、もっと本を読みたいと仲良くその場をあとにします。

## 子どもたちの作品が表紙に!「おがの自学ノート」

昨年度より取り組んでいる「おがの自学ノート」のデザインを刷新しました。町内の小学校から応募されたたくさんの中から厳選した4つの作品を表紙や裏表紙に使用し、使い方もわかりやすく記載しました。ポイントは、

子どもたちの「自由な学び」を育て、小学校を卒業するまでに「勉強のやり方がわかる」ことを目指すために活用してほしいということです。また、それを支える「親子共学」についても載せてあります。

### 低学年



表紙:両神小・黒沢結音さん



裏表紙:小鹿野小・加藤そらさん

### 高学年



表紙:両神小・新井美優さん

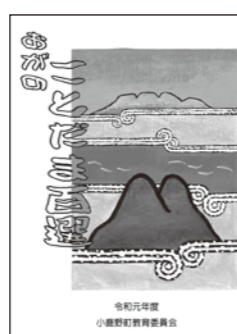


裏表紙:小鹿野小・渡邊瑠菜さん

応募して下さった皆さんの作品は、10月7日(月)から25日(金)まで、両神ふるさと総合会館2階ロビーに展示しますので、ぜひご覧ください。

## 楽しく学ぶ「おがのことだま百選」スタート

小鹿野町の各小学校では、以前より詩や文章等の暗唱に取り組んできました。小学校の段階で美しい文章を暗記することは、よい言葉や文章のリズム、語感などを身に付けることにつながり、大変効果的です。教育委員会では、このたび「おがのことだま百選」として、名文、名言、詩、小鹿野の民話など百編を選び、小学生全員に配布しました。保護者の皆さんには、「ことだま」の暗唱に取り組む子どもたちとたくさんふれあいをもち、「親子共学」のよい機会としていただきたいと思います。子どもたちには、自分のペースで楽しみながら取り組んでほしいと思います。



表紙:低学年(美坂伸一氏作)



表紙:中学年(田島昭泉氏作)



表紙:高学年(小菅光夫氏作)

今後の暗唱検定などでは、地域の皆さんのご協力をお願いする場合がございますので、よろしく願います。なお、「おがのことだま百選」は、図書館にて閲覧・貸出が可能です。

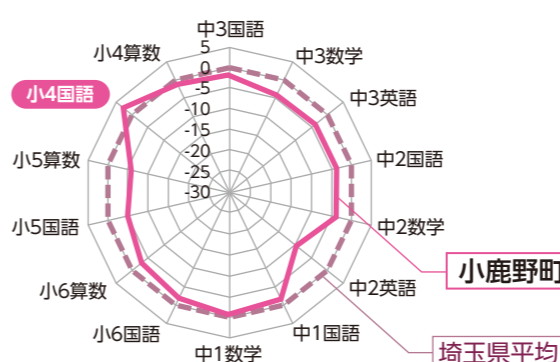
## 小・中学校でサマースクールを開催

町内の小・中学校で、今年もサマースクールが開催されました。暑い時期でしたが、朝のうちの涼しい時間を利用したことで、子どもたちも集中して学習していました。小鹿野未来塾の講師の皆さんの協力もあり、きめ細やかなご指導をいただくことができました。

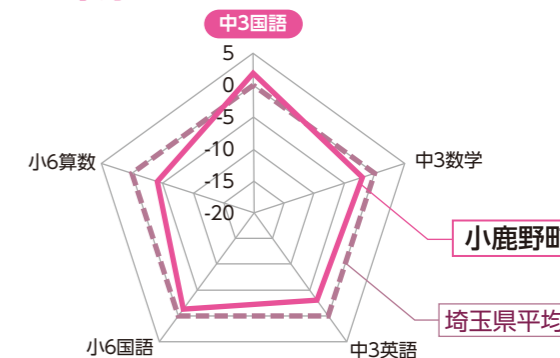


## 少しずつ着実に力をつけています(令和元年度 学カテストの結果)

### ■埼玉県学カテスト



### ■全国学カテスト

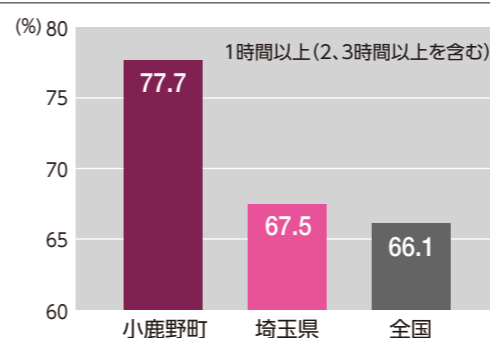


- 全体的に県平均に近づきつつあり、どの学年も着実に学力が伸びてきています。
- 小4の国語では、県平均を上回りました。

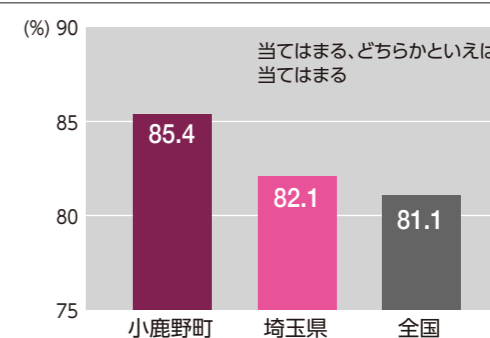
- 全国学カテストでも、県平均との差が縮まりました。
- 中3の国語では、ついに県平均を上回りました。

### ■県平均を大きく上回る～全国学カテストの質問紙調査の結果～

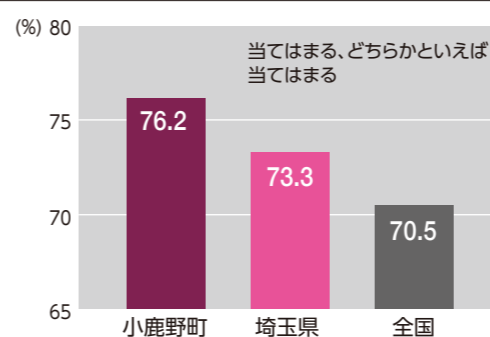
学校の授業以外に、普段どのくらいの時間勉強しますか(小6)



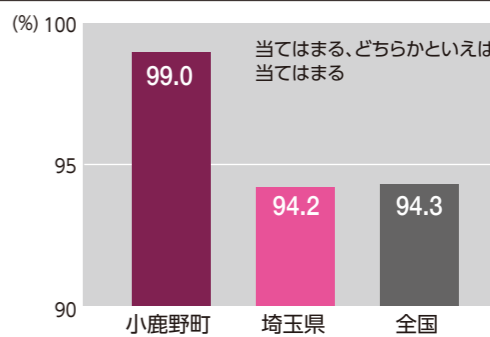
自分にはよいところがあると思いますか(小6)



将来の夢や希望を持っていますか(中3)



人の役に立つ人間になりたいと思いますか(中3)



- 小学生は83%(47/57項目)、中学生は75%(52/69項目)の項目が県平均を上回りました。
- 家庭学習時間が増えてきています。子どもたちが、自学ノートに取り組む姿勢の表れでしょう。
- 自己肯定感も高まっています。学校・家庭・地域でほめて育てていただくおかげです。
- 夢や希望をもつ子どもが増えたのもうれしいことです。学習に向かう意欲にもつながります。
- 人の役に立ちたい子どもが、ほぼ100%というのも、小鹿野町が誇るべきことです。